

平成27年(2015年)1月21日(水曜日)

大和合金 埼玉で工場建屋取得

電子・航空機向け需要増に対応

銅合金の鑄造・鍛造合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次)玉皇三芳町で工場を取

得した。写真。同社で電子機器関連や抵抗溶接材向け素材の販売が順調。加えて海外では航空機関連ビジネスが拡大している。今後



立地はグループ会社である三芳合金工業の近隣。昨年12月に取得し、建屋を改装する予定。来年度中の稼働を目指す。昨年まで化学メーカーが保有する工場だ

も需要増を見込んでおり、将来的な能力増強の余地を確保するため新拠点の「三芳工場」を設ける。取得金額は数億円。敷地は約5600平方メートルで建屋面積は工場や建屋などを合わせて約2600平方

メートル。倉庫も約550平方メートルと約60平方メートルの2棟。将来的な能力増強と併せて、広いスペースを確保して設備の配

置を最適化。生産性の向上にもつなげたい考えだ。駐車スペースも広く、大型トラックなどでの搬入・搬出もしやすい。同社では今年度、売上高で過去最高となる43億円を目指している。今後市場は拡大する見通しで、来年度

以降さらなる事業の成長を狙っている。工場取得はそのための施策のひとつ。萩野社長は「現在納入している市場のほかに、新規開拓も進めていきたい」と話している。三芳工場開設後も本社は引き続き東京都に置く予定。